

第1章 コミュニティ 第5節 国際社会

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、一定の成果が挙げられていると考えている。引き続き目標が達成できるよう、努めていきたい。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	485	470	①平和祈念式典参加事業	市の平和推進事業に理解いただけた人数の割合	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民一人ひとりに理解してもらったことが、当該事業の目的となっているため、当該事業に参加して意義を理解いただけた人数の割合を成果指標とする。				H28年度に改善した点					
	根拠法令	-	486	478	②平和を語る会		H28目標値が未達成の理由・分析				H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民一人ひとりに理解してもらうため、一般公募の市民と平和祈念式典に参加する「平和祈念式典参加事業」や、市内小中学校及び一般市民を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」の実施、市役所市民ホール及び各地区のまちづくりセンターにおいて原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」の開催を行う。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	S60年度～	0.38人	0.00人	①6名参加	100%	100%	H28目標値が未達成の理由・分析			戦後から70年以上が経過し、平和を語る会の語り部の負担を考慮すると、事業の在り方を工夫していく必要がある。					
			3,291千円	臨時職員	②16回開催し参加者1,314人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③来場者数約3,500人	100%	100%	H28目標値が未達成の理由・分析								
			0.60人	0.00人		H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析								
			5,145千円	臨時職員		100%		H28目標値が未達成の理由・分析								
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年概ね達成しており、外国籍市民と日本人市民の交流の場を設けて共生意識の啓発に取り組んでいるため。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	200千円	200千円	①参加者数	参加者数	在住外国籍市民、外国人観光客等、今後日本に滞在する外国人が増加の見込まれるため、市民と外国籍市民との共生意識の啓発が必要であり、来場者・出演者を含めより多くの方に本事業に携わってもらうことを重視しているため。				H28年度に改善した点					
	根拠法令	-	200千円	200千円	②外国籍市民の交流		H28目標値が未達成の理由・分析				H28目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	外国籍市民との共生意識の啓発を目的とする。市内に拠点を置く国際交流ボランティア団体と個人ボランティアが主体となり実行委員会を組織し、年に一度実施している。フォーラムでは①所沢市の姉妹都市紹介②日本人、外国籍市民がグループになって話す「交流会」③舞台での発表(和太鼓・歌・ダンス等)④常設コーナー(姉妹都市と所沢市の子も達が描いた絵の展示等)を実施し、市民(外国籍市民を含む)間のコミュニケーションの機会を作るとともに、知人作りや国際理解の場を提供している。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	平成7年度～	0.65人	0.00人	①610人	400	544	H28目標値が未達成の理由・分析			事業の目的に立ち返り、より多くの在住外国籍市民や国外にルーツを持つ市民の生活の補助となる内容で精査していく。そのためには、最低限必要な予算の確保を図っていく。					
			5,629千円	臨時職員	②96人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③131人	550	610	H28目標値が未達成の理由・分析								
			0.39人	0.00人		H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析								
			3,344千円	臨時職員		570		H28目標値が未達成の理由・分析								
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民団体と協働して20年以上実施している本事業は、日本語学習を通じた外国籍市民への生活支援の場であるとともに、相互理解を深める場として重要な役割を果たしているため、継続が必要である。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	103	99	①外国人のための日本語講習会	受講生	受講生の延べ人数				H28年度に改善した点					
	根拠法令	-	140	84	②受講生数		H28目標値が未達成の理由・分析				特になし					
	事業の目的及び具体的な内容	市内在住外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、国際化に対応し、市民の国際交流・異文化理解を推進する事を目的とし、毎週月曜日に日本語講習会を市民のボランティアにより実施。また、授業の一環として年1回校外学習を実施。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	平成元年度～	0.22人	0.00人	①36回	1100	877	H28目標値が未達成の理由・分析			外国人受講者の数が増え、出身国についても、これまで多かった中国や韓国ばかりでなく多国籍化してきた。日本語学習を通して生活支援をすることや相互理解を深めることがますます必要となり、また、所沢市の国際化に対応した施策としても重要であることから今後も継続が必要である。					
			1,905千円	臨時職員	②892人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		900	892	H28目標値が未達成の理由・分析								
			0.25人	0.00人		H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析								
			2,144千円	臨時職員		900		H28目標値が未達成の理由・分析								
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	日本語ボランティア団体を構成するスタッフが高齢化しており、若い方にも団体に入って定着し、力になってもらえるよう、講座を工夫して企画する必要がある。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	100	100	①日本語講習会指導者研修会	指導者研修会の満足度	出席者アンケート項目「大変よかった」等の回答率				H28年度に改善した点					
	根拠法令	-	100	100	②研修会受講生		H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	事業の目的及び具体的な内容	日本語講習会のボランティア(指導者)の確保と技術の向上	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			各日本語教室の受講者が増えてきているので、ボランティアスタッフの確保が重要になってきている。日本語講座は、日本語習得の場であり、日本で生活していく上で必要な知識・情報を得る場であるとともに、ボランティアにとっては、生涯学習・国際交流・異文化理解の場となっている。本事業は、充実した教室の運営のため、指導者の支援、技術・志気の向上や行政と各団体、団体間の連携を強化しており、今後も継続が必要である。					
	期間	平成4年度～	0.15人	0.00人	①6回	98	88	H28目標値が未達成の理由・分析								
			1,299千円	臨時職員	②201人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		90	92	H28目標値が未達成の理由・分析								
			0.16人	0.00人		H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析								
			1,372千円	臨時職員		95		H28目標値が未達成の理由・分析								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年概ね達成しており、また、所沢市の姉妹都市との安定した民間交流を継続している。特に役員の意識は高く、ボランティアとして様々な事業に関わっており、所沢市の姉妹都市交流に寄与しているといえる。	H28年度に改善した点		無	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,400千円	717千円	①友好委員会事業に参加した市民の数	友好委員会事業に参加した市民の数	姉妹都市との市民レベルでの交流を通じ、国際的な視野をもった市民を増やすために、より多くの市民に参加を促す必要があるため。				H28年度に改善した点				
	国際友好委員会交付金	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②姉妹都市との交流		実績	H28目標値が未達成の理由・分析			創立50周年記念式典を開催したことで、今までの委員会の歩みを振りかえるだけでなく、将来の活動について考える契機となった。今後の委員会の活動をどのようにしていくべきか、現在役員が中心となって、検討をはじめている。				
		所沢市国際友好委員会交付金交付要綱	1,400千円	1,195千円	③市民の意識を高める事業数	H27年度目標		H27実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①153	80		87			課題: 世代交代、自主性の強化(事務局の負担軽減)				
		外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っている。この流れを促進し、市民の国際意識を高めるために、海外姉妹都市との交流を主体的に進める民間団体に対して助成をし、その活動を支援する。 ①姉妹都市(米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市)への一般市民訪問団の派遣②姉妹都市から来訪する訪問団との交流③姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援④外国籍市民との交流	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②6	90		153			取り組み: 入会への勧誘(特に若い世代)				
期間	昭和55年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③7	H29年度目標		評価者		文化芸術振興課長 吉田 謙治						
		1,715千円	0.07人		100										
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民の共生意識が高まるにつれ、得意な分野でのボランティア登録が増えると考えたため。(平成27年度に名簿を更新したことで登録者数は減少したが、より実働可能な登録者の数となっている。)	H28年度に改善した点		無	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,941千円	642千円	①フナナイトステイを受け入れた数	ボランティア登録者数	市民の共生意識が高まるにつれ、得意な分野でのボランティア登録が増えると考えたため。(平成27年度に名簿を更新したことで登録者数は減少したが、より実働可能な登録者の数となっている。)				H28年度に改善した点				
	国際交流推進事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②姉妹都市から行政視察団を受け入れた数		実績	H28目標値が未達成の理由・分析			目標は達成しているが、フナナイトステイ事業やボランティア登録事業については、取り組みの方向性や効果を適宜検証して、より効果的な事業となるよう努めることとする。				
		所沢市自治基本条例	2,521千円	1,442千円	③	H27年度目標		H27実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①5回	37人		14人			埼玉県多文化共生ボランティア登録システムに加入することで、所沢市だけでなく埼玉県全域で登録ボランティアが活動できるとともに、他市登録ボランティアを活用することもできる等のメリットがあるので、必要な要件を確認する等検討を進める。				
		国際交流を推進する様々な事業を実施する事により市民の共生意識を高める。 ①埼玉県で行う外国人のホームステイ事業において、所沢市民にホストファミリーになってもらい、国際交流をしよう。②公的文書の翻訳・公的機関での通訳等に協力するボランティアを登録・活用する。③姉妹都市から行政視察団を受け入れ、テーマにあった視察等をアレンジする。また、姉妹都市へ行政視察団を派遣し、先進的な取り組みについて視察を行う。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②4回	16人		17人			評価者				
期間	～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	H29年度目標		文化芸術振興課長 吉田 謙治								
		7,889千円	0.00人		18人										
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成している。国際化が進む中で、将来を担う高校生が国際感覚を身につけることは重要である。また、所沢市の受け入れ家庭では、ディケイター市の高校生を迎え入れることで異文化への理解を深め、相互交流をする意義深い事業であるため、引き続き実施内容を検討しながら継続して行っていく。異文化に触れた経験から、多文化共生の意識を育む環境づくりにおいて、今後、市への協力を期待したい。	H28年度に改善した点		無	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,008千円	945千円	①所沢市への派遣員の総数	派遣員の帰国後の国際交流事業への参加人数	派遣員に帰国後も、国際交流事業へ参加してもらうことによって、国際交流事業への関心や理解、協力関係を継続していく必要があるため。				H28年度に改善した点				
	海外都市学生交流事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②所沢市における受入家庭の総数		実績	H28目標値が未達成の理由・分析			平成28年度はディケイター市の高校生6名を受け入れたが、各受け入れ家庭と連絡調整を密に行うことで、本事業への理解を得られた。				
		所沢市海外都市学生交流実施要綱 所沢市海外都市学生交流補助金交付要綱	1,022千円	778千円	③	H27年度目標		H27実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①6人	15		17			ディケイター市高校生の受け入れについては、受け入れ家庭だけでなく、関心のある所沢市民が交流できるような機会を設けられるとより有意義な事業となる。その方法を検討する。				
		姉妹都市に派遣員(高校生等)を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していくことを目的としている。 姉妹都市である米国ディケイター市との間で、派遣と受け入れを毎年交互に行い、派遣員は一般家庭で2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②11世帯	26		42			評価者				
期間	平成3年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	H29年度目標		文化芸術振興課長 吉田 謙治								
		2,401千円	0.00人		50										